

豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育む授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は指導の例と対応

運動に関する領域

- ① 児童生徒にとって、難しすぎず、易しすぎない適切な課題や、思わずやってみたくなるような場や学習活動を設定する。
- ② 見合いや教え合いのポイントを提示したり、チームで相談し合う観点を明確にしたりする。
- ③ 運動を楽しく行い、動きや技能が高まるとともに、運動の大切さを実感できるような場面を設定する。
- ④④ 単元など内容や時間のまとまりの中で、指導内容と評価場面を適切に組み立て、指導の改善や学習意欲の向上につなげる。

保健に関する領域

- ① 健康・安全に関心をもつことができるようにするための教材や発問を工夫する。
- ② 健康課題の発見・解決のために、話し合ったり、伝え合ったりする場面を設定する。
- ③ 習得した知識と実際の生活とを比較したり、関連付けたりする学習活動を取り入れる。

児童の学習意欲の向上につなげる指導の例

小学校第4学年 単元名 ゴール型ゲーム「タグラグビーを基にした易しいゲーム」

本時のねらい ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選ぶことができる。(本時5/8)

◇評価規準 ボールを持っている人とボールを持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。
【思考・判断・表現】(観察、動画、学習カード)

◇おおむね満足できる状況(十分満足できる状況)

チームの話合いの場面で、ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた(チームに合った)作戦を選んでいる。

◇努力を要する状況と判断される児童への指導の手立て

チームの話合いに参加できるように、よい動きの友達やチームがどんな役割や動きをしながらゲームをしているかを具体的にイメージできるよう助言する。

ねらいを達成した児童の姿を明確にし、指導の充実につなげます。④

チームの話合いの場面



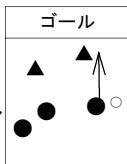
ゲーム①を振り返ってゲーム②の作戦を話し合しましょう。撮影した映像で振り返ったり、作戦ボードを活用したりしながら、動き方と役割を中心に具体的に確認していきましょう。

ゲーム①は、友達の動きに合わせて動くことができていたよね。

そうだね。ゲーム②は、ボールを持たない人がもっとリードできそうな「サイド攻撃作戦」にするのはどうかな。

「サイド攻撃作戦」

- …味方
- ▲…相手
- …ボール



【作戦ボードの様子】

いい考えだね。役割分担をしよう。僕が右をやってみていいかな。

ボールを持ったらゴールに向かって走ってね。私は、左にいて相手を引き付けるね。

相手を左側に集めることができるように、私も左で声を出して相手を引き付けるね。

考えたことを互いに伝え合うことで、チームの課題解決につなげられるようにします。また、作戦ボード等を活用してゲーム中の動き方と役割を可視化し、チームの考えを共有できるようにします。

1人1台端末を用いて児童が客観的に自分やチームの動きを振り返ることで、ゲーム中の動きを改善したり、作戦を選びやすくなったりすることも考えられます。②

選んだ作戦がゲームで表出しやすくなる場の設定やルールの工夫が大切です。③

ゲーム中にどう動いてよいのか分からず、チームの話合いに参加できない児童への指導の場面



「パス作戦」の動き方で困っていることはありませんか。

前にいる友達はタグを取られたら後ろの僕にパスをします。どう動いたらそのパスを上手に受け取ることができるのか分かりません。

授業時の観察を基に、児童のつまづき等を把握して意図的に発問し、児童の気付きを引き出します。④

パスがつながったとき、友達はどこにいたか思い出してみましょう。

友達の後ろにぴったり付いてパスを受けやすくしていたな。前にいる友達の斜め後ろに付いていると受け取れそうだな。

学習の振り返りの場面



自分たちが選んだ作戦と役割でゲームをして気付いたことや考えたことを学習カードに記入しましょう。

<学習カード>

パス作戦で前にいる友達の斜め後ろに付いて走っていたらうまくパスを受け取ることができた。友達が僕の名前を呼んでくれたのでタイミングよく受け取れた。自分の役割や動き方が分かって楽しくできた。



設定した評価規準に基づいて振り返りの視点を明確にします。また、学習カードの記入状況を参考に評価し、成果等を価値付け、次時以降の課題解決に生かせるようにします。③④

チームで一人一人の役割を考えて作戦を決めることができてよかったですね。役割分担をしたことでみんなが楽しくゲームに参加できましたね。